

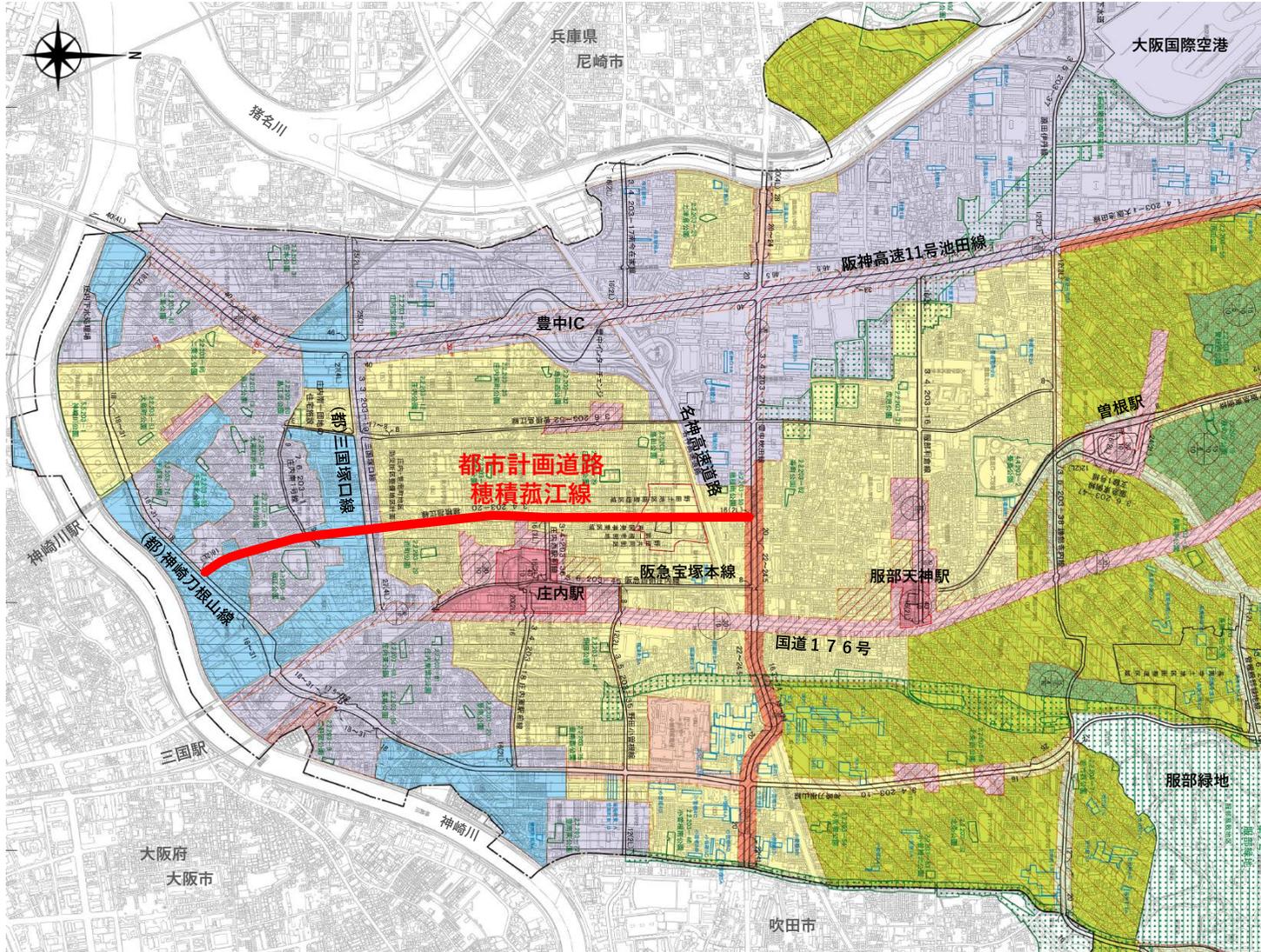
事業概要

応募No.	10		
事業主体	豊中市	事業箇所	大阪府豊中市穂積～千成町
応募者名	豊中市 都市基盤部 基盤整備課		
ふりがな 事業名称	としけいかくどうろほづみこもえせんせいびじぎょう 都市計画道路穂積菰江線整備事業		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、木造住宅密集地で阪神淡路大震災の被災地でもある豊中市南部の庄内地区に位置する補助幹線道路の整備を実施したものである。庄内地区は道路や公園等の公共空間が不足しており、住環境の向上をめざしたまちづくりの一環として昭和57年度(1982年度)から本路線の一部の事業に着手し、震災後の平成7年(1995年)9月には、災害に強いまちづくりを進めるため防災ラインと位置づけ、事業区間を庄内地区全域に拡大し整備を推進したものである。</p> <p>本事業の整備効果は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難路及び救援・復旧活動の道路確保 ・火災延焼防止空間の確保 ・都市景観に配慮し魅力ある歩行空間の創出 ・ポケットスペース等の活用によるアメニティ空間づくり 		
事業規模	事業延長(km)	約2.2km	
	幅員(m)	16.0m	
	事業期間(和暦)	昭和57年度～令和3年度	
	事業費(億円)	約150億円	
受賞歴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
URL	https://www.youtube.com/watch?v=HaMfy84ARZ0		

事業位置図



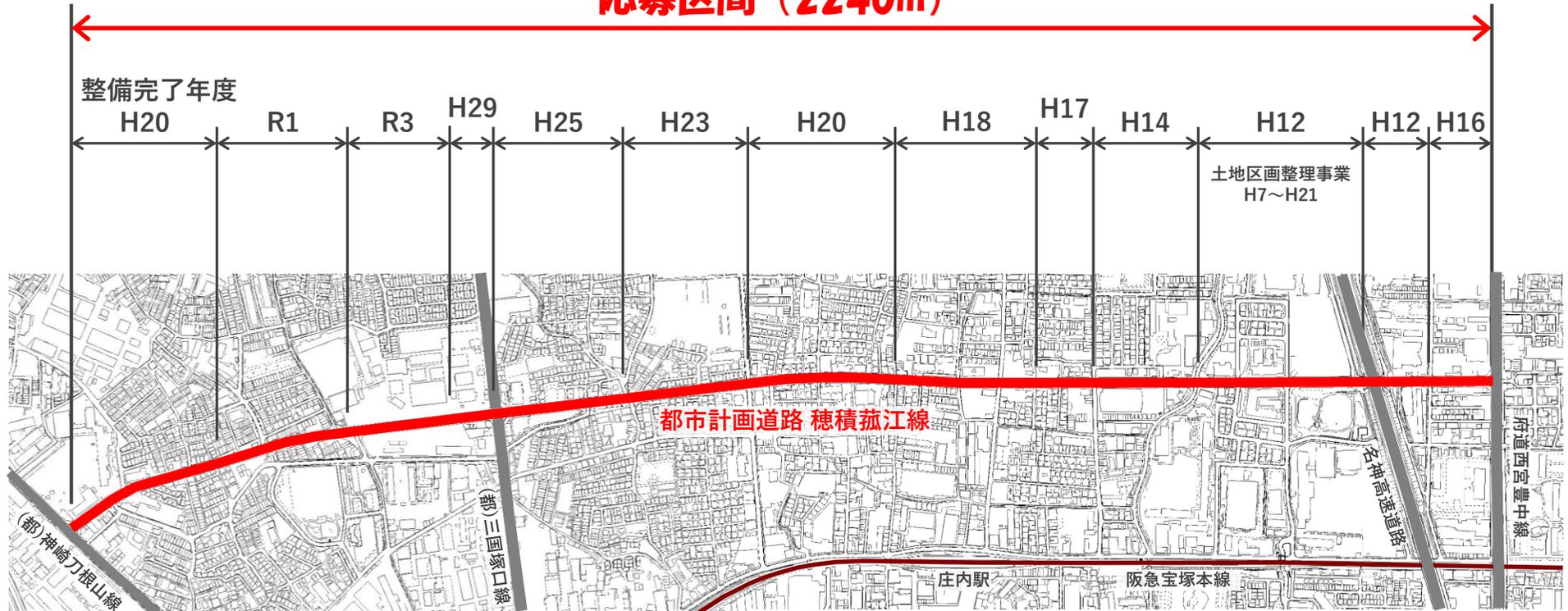
都市計画図(用途地域図)



凡 例		建ぺい率		容積率	
用途地域	第1種低層住居専用地域	4/10	8/10	15/10	
	第2種低層住居専用地域	4/10	8/10	8/10	
	第1種中高層住居専用地域	6/10	20/10	20/10	
	第2種中高層住居専用地域	6/10	20/10	30/10	
	第1種住居地域	6/10	20/10	30/10	
	第2種住居地域	6/10	20/10	30/10	
	準住居地域	6/10	30/10	30/10	
	近隣商業地域	8/10	50/10	100/10	
	商業地域	8/10	50/10	100/10	
	準工業地域	6/10	20/10	30/10	
工業地域	6/10	20/10	30/10		
無指定地	6/10	20/10	20/10		
	1.5m	第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域 の外壁の後退距離			
	道路に接する部分を除き 北側隣地境界線より1.0m				
	○	※表示のない地域の 上段 容積率 ※容積率は 20/10 下段 建ぺい率 容積率は 20/10です			
防火防煙地域	防火地域				
	準防火地域				
高度地区その他	第1種高度地区				
	第2種高度地区				
境界線	道路、水路、鉄道等の地形、地物による境界				
	都市計画道路及び広域又は限有境界及び広域境界線 よりの後退(25m又は90m)による見通し線などによる境界				
道路鉄道	都市計画道路				
	都市高速鉄道				
公園	公園				
	緑地				
その他	風致地区	建ぺい率 40%	外壁の後退距離 隣地1.0m 道路1.8m 建築物の高さの限度 15m		
	市街地開発事業				
	一団地の住宅施設				
	その他の都市施設				
	生産緑地地区				
境界	特別緑地保全地区				
	地区計画等				
	行政区域界	※本市は全域が 市街化区域です。			

路線全体の進捗状況

応募区間 (2240m)



平面図

事業前



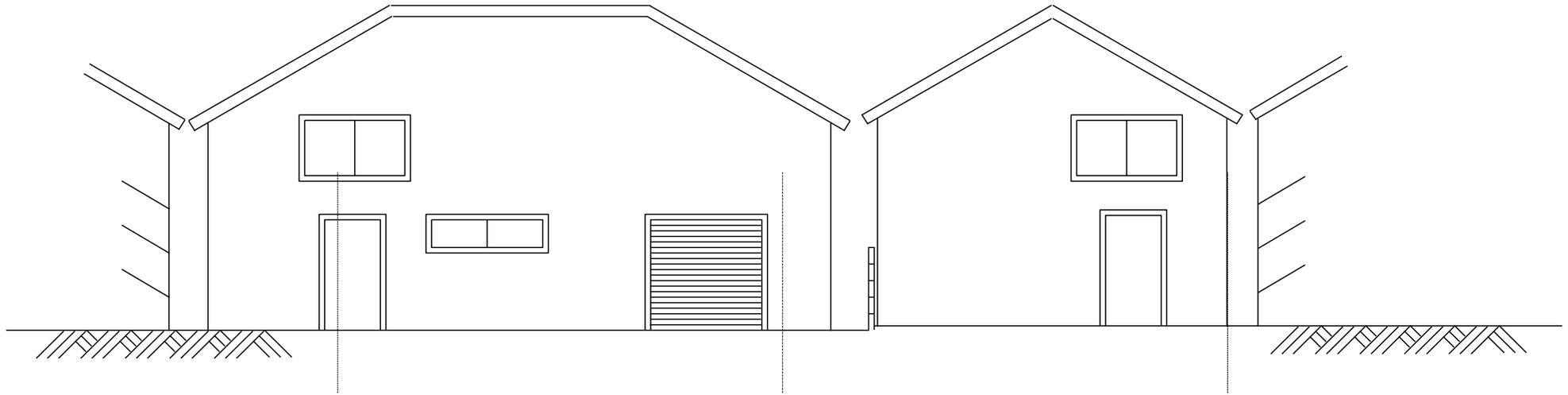
事業後



横断図

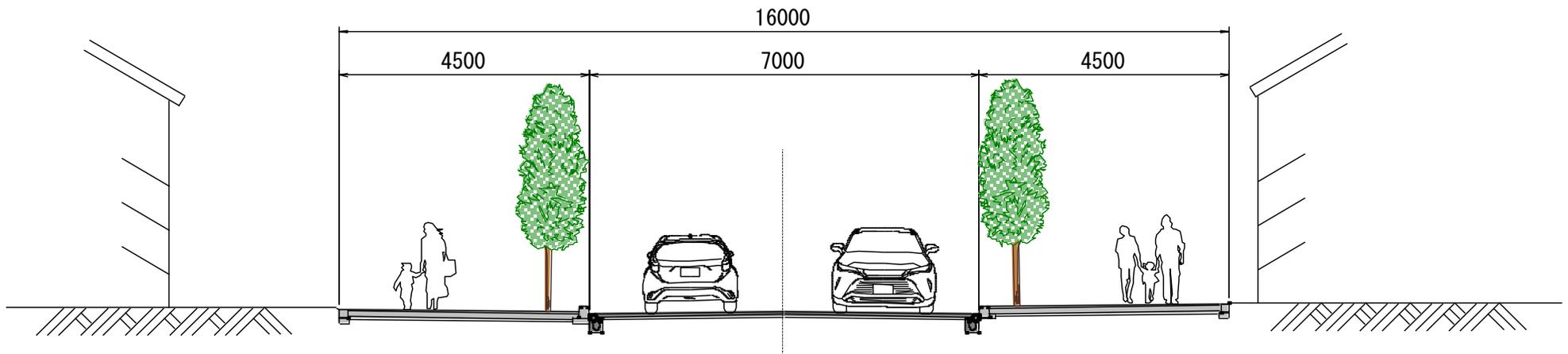
事業前

※令和元年度整備区間



事業後

※令和元年度整備区間



事業前写真

事業後写真

豊中市：(都)穂積菟江線

写真①



平成25年5月撮影

写真①



令和3年7月撮影

写真②



平成20年9月撮影

写真②



令和2年10月撮影

事業前写真

事業後写真

豊中市：(都)穂積菟江線



事業効果アピール資料

1. 木造住宅密集地域における防災ライン機能の確保

「地震時等に著しく危険な密集市街地」を公表
（国土交通省 平成24年10月）

⇒ 豊中市：庄内地区・豊南町地区

● 災害時の避難路・通行路の確保

- ⇒ 地域住民が安全・円滑に避難できる避難路確保
- ⇒ 救援活動や復旧活動時の緊急車両等の通行路確保

● 火災延焼防止空間の確保

- ⇒ 延焼防止空間の確保と沿道の不燃領域率の向上
- 不燃領域率^(※)：平成11年 約33% ⇒ 令和3年 約44%

(※)都市計画道路穂積菰江線が通過する町丁目の不燃領域率

● 消防救急活動の円滑化

- ⇒ 消防署に隣接する道路の整備により
庄内地域における円滑な消防救急活動を実現



□：地震時等に著しく危険な密集市街地

2. ライフライン収容空間の充実

● 地下埋設物の耐震化・機能向上

道路整備にあわせて地震に強い上水道管（鑄鉄管）を敷設



1. 事業着手前の意向調査

令和元年度整備区間：

整備延長（220m）に対し、権利者多数（土地:8名、建物:71名、借家人:16名）

● 街路整備後の付近への残留希望等意向調査を実施

⇒ 全権利者に対し、意向調査票を郵送し面談による聞き取り調査を実施

● 調査結果を基に、事業方式（面整備または線整備）の検討を実施

⇒ 調査の結果、付近への残留希望者が少なかったため線整備による事業方式を採用



苦勞や工夫等アピール資料

2.PR活動（開通式・フリーウォーク・動画公開）

● 全線開通を記念して開通式及びフリーウォークを実施



● ドローンを活用して事業PR動画を作成し公開



受賞歴・報道資料

令和4年(2022年)1月17日 産経新聞